

協定留学近況報告書

記入日	2016年 11月 8日
留学先大学	カリフォルニア州立大学 フラトン校
留学先での所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語): , (現地言語での名称): <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している。 <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2016年8月－2017年5月
明治大学での所属	国際日本学部国際日本学科__専攻 / __研究科__専攻
学年(出発時本学での学年)	学部3年生/研究科 <input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程 年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

準備に関して。出発前には、出来るだけ当時留学していた先輩・友人に協力してもらいました。インターネットで情報を得ることも大切なのですが、自分が体験するであろうことをリアルタイムで経験している人からの情報の方がより活かすものであると同時に効率的な手段だと思います。また、現地でどのような活動をしたいのか、どのような生活を送りたいのかイメージして、自分の中にいくつかの軸を据えておくことも重要です。

準備不足だったこととしては、やはり英語力でしょうか。過去に留学に行かれた方の話を聞いて、英語についてやれることをやってから出発しようと意気込んでいましたが、実際に到着してから自分が甘かったと痛感しました。なので、出来るだけ、英語を入念にやっておくことを強くお勧めします。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ)

ビザの種類:F-1	申請先:アメリカ大使館
ビザ取得所要日数:2-3週間 (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用:\$ 160程度

ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか？また、どのように手配しましたか？

主に、I-20、パスポート、英文の銀行残高証明書、大学の成績証明書、証明写真の提出を求められます。最近、高校の成績証明書を提出する必要がなくなったようですが、念のため申請しておくことをお勧めします。

具体的な申し込み手順を教えてください。

インターネットでDS-160を作成し、その後面接を予約、最後に大使館へ行き、面接を受け、自宅にビザが届く。

ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか？

留学期間・専攻しか聞かれませんでした。気楽に臨みましょう。

ビザ取得に関して困った点・注意点

ビザ申請の際に扱った書類(DS-160 やパスポートなど)は、コピーを取っておくと良い。あと、早め早めに動けば特に問題は起きないでしょう。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送など)

お金の面については、出国前に家族と話し合っておいたほうが良いです。個人的に、クレジットカードと併せてデビットカードも持っておくと良い気がします(急に高額な出費がかかる場合が無いとはいえないので)。携帯電話については、ソフトバンクの「アメリカ放題」が最も無難でしょう。もしくは、現地でも簡単に購入できます。また、日本からアメリカへの国際郵便は基本的に数千円かかるので(配達には数日かかる)、可能な限り自分で持ってくるの良いでしょう。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	デルタ航空				
航空券手配方法	デルタ航空のHPより ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名	ロサンゼルス国際空港	現地到着時刻	11:30AM		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配 の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の 出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (Super shuttle)
移動の所要時間	1時間程度				

空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等

ロサンゼルス国際空港は非常に複雑なので、時間に余裕を持って手配すると良いでしょう。困ったら、インフォメーションデスクへ。料金は50ドル程度。

大学到着日	8月18日13時頃
-------	-----------

2. 住居について

到着後すぐに住居 入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい	いいえを選んだ方： 月 日から入居可能だった。	
	<input type="checkbox"/> いいえ		
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮	<input type="checkbox"/> アパート	<input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋	<input type="checkbox"/> 二人部屋	<input type="checkbox"/> その他()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生	<input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生	<input type="checkbox"/> その他()
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋	<input type="checkbox"/> 自分で探した	<input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	留学先大学から案内が来るので、それに従うだけです。		

住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？

渡航前に確定します。時折、メールの返信が来ないことがありましたが、もう一回送ったりして、抜かりのないように。早めに申し込まないと空室が無くなってしまうので、そこは注意してください。

3. 留学先でのオリエンテーションについて

オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった	<input type="checkbox"/> なかった
日程	8月20日	
参加必須ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 必須	<input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input checked="" type="checkbox"/> 無料	<input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	キャンパス・Academic Integrity・授業登録についての説明。朝早くに開始だったので、会場には軽食も用意されていた。	
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった	<input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	8月22日から	

IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？

現地大使館への在留届並びに明治大学への到着報告・授業開始の報告は、しっかりと済ませましょう。

2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？

特になし。

3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

デビットカードが必要だったので、US Bank で口座を開きました。Titan Shop という売店が入っている建物の中に US Bank の窓口があるので、そこにパスポートを持って行き、個人情報について何枚かの書類を書いて、カードが届くまで1週間ほど待ちます。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？

購入していません。

V. 履修科目と授業について

1.履修登録はいつどのような形で行いましたか？

出発前に(6-7月頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()

到着後に(8月25日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることは あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

履修したい授業の初回もしくは2回目の授業に出席し、担当教員のサインをもらいました。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

出国前に(6-7月ごろ)、履修したい授業の登録を行いますが、それは全く意味がないと思っていただけで構いません。ただ、1回断られたからといって諦める必要は全くなく、希望する授業の初回もしくは2回目の授業に参加し、担当教員からサインをもらえれば大丈夫です。全ては、交渉次第です。

VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入してください。

	月	火	水	木	金	土	日
7:00							
8:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
9:00	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
10:00	授業	授業	授業	授業	勉強	試合 or 勉強	試合 or 勉強
11:00	課題	TA	課題	TA	↓	↓	↓
12:00	自由時間	TA	自由時間	TA	↓	↓	↓
13:00	授業	授業	授業	授業	昼食	↓	↓
14:00	勉強	休憩	勉強	休憩	勉強	↓	↓
15:00	↓	練習(サッカー)	↓	練習	↓	↓	↓
16:00	↓	↓	オフィスアワー	↓	↓	↓	↓
17:00	↓	↓	勉強	↓	ジム	↓	↓
18:00	夕飯	夕飯	夕飯	夕飯	↓	夕飯	夕飯
19:00	自由時間	自由時間	自由時間	試合	夕飯	自由時間	自由時間
20:00	勉強	勉強	勉強	↓	自由時間	↓	↓
21:00	↓	↓	↓	自由時間	↓	勉強	勉強
22:00	ジム	↓	ジム	↓	↓	↓	↓
23:00	自由時間	自由時間	自由時間	↓	↓	自由時間	自由時間
24:00	入浴・就寝	入浴・就寝	入浴・就寝	入浴・就寝	入浴・就寝	入浴・就寝	入浴・就寝



Ⅶ. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般についてなど、自由に書いてください。

CSUF は、比較的静かな地域に位置しているので勉強するには適していると感じます。授業は、非常にハードで、ディスカッション型の授業では、膨大なリーディングを事前に消化し、それを自分の言葉で腹落ちさせておく必要があるため予習にかなりの時間がかかります。レクチャー型の授業でも、同様にリーディングの量が多いです。言うまでもないですが、中間テストや小テスト、期末レポート、期末試験もあるので勉強勉強の毎日になると思います。しかし、日が経つにつれて慣れてくるので、要領よくこなすことができるようになります。補足として、大統領選挙の投票が行われた次の日の授業は全て選挙についてでした。クラスメイト達が、皆活発に自分自身の見解をぶつけ合う光景を目の当たりにし、それはある種の口喧嘩のようにも見て取れ、この時期に留学していて良かった、と感じた瞬間でした。

次に、寮について。私は、University Village という寮に住んでいます。施設面・衛生面・地理面を考えても、値段相応だと思います。ただ、この寮には大麻やマリファナを常習的に吸っている人が多い印象です。法律の範囲内であれば、多少の使用が認められているので十分に注意してください。ハロウィンの夜に、ひとりの学生が暴れ出し、ボヤ騒ぎが起き、警察沙汰になったことは一生忘れられない記憶になっています。なので、寮を選ぶ際はその雰囲気まで調べることをお勧めします。とはいえ、日本人以外の人との共同生活は非常に楽しくて、新しいことに溢れています。日本とは正反対の異文化に戸惑うこともありましたが、それも留学の醍醐味の一部です。将来の糧・成長の種になると思って、受け入れましょう。寮は、日々の生活の基盤になる場所なので、細心の注意を払って選んでください。

最後に、生活についてですが、私は学校のサッカークラブ(明治大学で言ったら体同連のようなもの)に入っており、週2回の練習に励んでいます。毎週末には、他校との試合があり、非常に競争的なクラブです。また、11月には全米クラブチーム選手権も開催されます。様々なバックグラウンドを持つ人たちと、目標に向かって取り組むことは非常に貴重な経験となっています。どうやったらチーム内での自分の存在価値を高められるのか、フィジカル面では欧米人には敵わないことが多いのでどの部分で勝っていくのか、などを日々考えるようになり、毎日自分自身の成長を感じています。また、運動系以外にも文化系のクラブも多くあるので、何かしらのクラブに所属することをお勧めします。ネットワークが広がり、思いもよらないところでチャンスが舞い込んでくるかもしれません。

留学先大学を目指す学生に向けてのアドバイスをお願いします。

CSUF を希望している方だけでなく、留学を希望している方達に言えるのは「留学はゴールじゃない」ということ。留学先でどの様なことをして、どの様なことをやり遂げ、そしてどの様な力を身に付けるのかを考え、そしてその力や経験が将来的にどの様に生きてくるのか、ここまで考えることができれば自ずと留学は良いものになると確信しています。

また、“旅の恥はかき捨て”とはよく言ったもので、留学において大切な姿勢は積極性とミスを恐れない気持ち、そして考える力だと思います。よく日本人は英語が話せないと言われますが、それは間違いを犯す恐怖心が足かせになっているからです。その足かせを取っ払い、積極的に間違えて行く。そして考え、学ぶからこそ、個人の成長があります。ですので、日本にいううちから常に自分の頭で考えて行動するように努め、何でもどんな些細なことでもとりあえずやってみるという姿勢を身につけてください。

最後に、留学は“準備期間の充実度”に大きく左右されるということ覚えておいてください。また、リスクマネジメントを学ぶ絶好の機会ですので、起き得る可能性があること・状況を全て想定し、いつその様な状況に陥っても対処できる様にしておきましょう。準備段階から、留学は始まっています。気を抜かずに、地道に取り組んでいってください。応援しています。

